

植樹イベントに参加しました

ミンガラバ！（ミャンマー語で「こんにちは」の意味）。そちらはもう夏休み中盤でしょうか。3 週間遅く始業したヤンゴン日本人学校は 28 日に無事 1 学期終業式を終え、30 日間（長い！）の夏季休業に入りました。とはいえ中 3 生は日本で夏季講習、中 2 生も日本に戻り、自分が進学を考えている高校に実際に見学に行ったりと忙しい夏季休業！私にも研修や宿泊体験学習の計画等々宿題がいっぱいです。生徒のいない学校に毎日通って、少しずつコツコツと取り組みたいと思っています。

今回挨拶をミャンマー語でしてみました。ようやく生活にもなじんだので、家庭教師を雇いミャンマー語の勉強を始めたところです。元英国植民地だったということもあり多少は英語が通じますが、ほとんどの所ではミャンマー語しか通じません。なので生活していくにはミャンマー語が必須です。まだまだ勉強中でご披露できるレベルではないので、また機会を改めて紹介したいと思います。



さて、今回紹介するのは、7 月 8 日に行われた「ヤンゴン植樹会」についてです。

ミャンマーでは現在近代化が進むとともに深刻な「燃料問題」が起きています。とはいっても、地方に行けば日本のように石油・ガスなどの化石燃料に頼るのではなく、もっぱら燃料は「薪炭」！そのため、山の木々はどんどん伐採され、山の土壌が川に流入⇒低地の水害の原因に…という構図となっています。それを少しでも緩和するべく、日本のイオンが 5 年前からヤンゴン近郊で植樹活動を行っているそうです。場所はヤンゴンの北、ローガー湖そば。ヤンゴンから車で 1 時間ほど離れた場所です。今回家族 3 人で参加しました。



参加してみて気づいたことですが…さすがイオン主催とあって、参加者全員にイオンカラーのTシャツと軍手、飲料水が用意されていたり、誰でもすぐ作業にかけられるよう事前準備が行き届いていたり、作業が終わった後すぐ洗えるように簡易水道が用意してあったり、至れり尽くせりの対応でした。「こういう準備の良さが日本式だな〜」と久々に日本を感じたところです。そして、この会にはミャンマー人だけでなく現地在留の日本人も多数参加しており、開会式にはミン・スエ ミャンマー国副大統領（写真左の白い服の方）も参加していました。あらためて、ミャンマーも国としてこの問題に対し真剣に取り組んでいるんだなぁと感じたところです。

開会式の直前に雨季特有の激しい雨が降り始め、どうなるんだろうと心配しましたが、植林開始時にはほとんどあがってくれてよかったです。総勢 1,200 名の参加者が 1~42 のグループに分かれ、それぞれ担当する力所に移動し植樹を行いました。場所に移動するとスコップが用意されており、それで 1 本 1 本土を寄せて植えていく感じです。ヤンゴン市は河口付近にある都市なので、土壌はシルト～粘土です。そのため、直前に降った雨で土がとても重くなり、早々にスコップでの作業は断念。長靴で土を寄せながらの作業になりました。そんな大変な作業でしたが、うちの娘は嬉々としてスコップで土を寄せていました。私の趣味が家庭菜園なので、小さい頃から私と一緒に畑作業に親しんでいた娘。北海道での経験をヤンゴンで生かしている姿を見て、やはり「経験させること」と「それを活用する場を与えてあげること」は大切なんだなぁ〜と植樹と全く関係ないことをしみじみと感じたところです。

この植樹イベントは 3 年計画で行われており、今年度は 2 年目。なので次年度またあるとのこと。タイミングが合えば来年も参加したいと思います。

それではまた来月、ミャンマーでの生活を報告します。

